

「保育・教職実践演習の充実に向けて」一考察
－教育実習における学生及び指導教諭へのアンケート結果から－

赤 澤 誠 一 片 岡 巧 仲 谷 辰 夫

Fulfillment in the seminar on up bringing nurture and teaching practice.
Questionary survey of the nursery school staff and student.

Seiichi Akazawa Takumi Kataoka Tatsuo Nakaya

豊岡短期大学 論集

第 13 号 別 冊

平成 28 年 12 月 20 日 発 行

「保育・教職実践演習の充実に向けて」一考察

－教育実習における学生及び指導教諭へのアンケート結果から－

Fulfillment in the seminar on up bringing nurture and teaching practice.
Questionary survey of the nursery school staff and student.

赤澤 誠 一 片岡 巧 仲谷 辰夫
Seiichi Akazawa Takumi Kataoka Tatsuo Nakaya

はじめに

文部科学省の「教職課程の質的水準の向上」によると、「教職実践演習は、教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて（中略）最終的に確認するものである。学生はこの科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。」とある。また、教職実践演習の履修を通じて、教員として必要な資質能力の確実な確認が行われるようにするためには、教員として求められる以下の4つの事項を含めることとすることが適当である。

1. 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項
2. 社会性や対人関係能力に関する事項
3. 幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項
4. 教科・保育内容等の指導力に関する事項

現実として上記の4つの事項が有機的に統合され形成される教育実践は教育実習において他にない。また、保育・教職実践演習は、教育実習終了後に実施して、大学通信教育で学んだ学習知と教育実習等で得られた実践知との統合を図り、使命感や責任感のある実践的指導力を身に付けさせることを目的としている。また、教職課程を履修する学生にとって教育実習は最も重要な課題の一つになっている。そこで、実践知を得る教育実習について考察し、保育・教職実践演習や幼稚園教育実習事前・事後指導の充実の一助とし、更には受け入れ幼稚園との緊密な連携が図れるようにしたい。

具体には、教育実習を受け入れる幼稚園教員の思い・感想・願いと教育実習生（事前・事後）の意識をアンケートで調査し、比較・検討することにより実習の実態を把握する。更に、その考察から教育実習に関する授業の在り方や学生の意識の変革の方途を探ることとした。

調査方法

これから教育実習を行う通信学生群 (67人) と、教育実習を終えた通信学生群 (135人) に、ほぼ同内容のアンケートを実施して、教育実習前後の意識の変化を調査した。また、教育実習を受け入れる幼稚園教員(69人)にも学生への質問事項に沿ったアンケートを行い、その意識の差を調査・考察した。

【事前 (教育実習実施前: 幼稚園教育実習事前指導 受講生 67人)】対象アンケート

※あなたは幼稚園教諭をめざしていますか (どちらかに○、その理由)

- 1 「実習でやってみたい (やろうと思っている) 子どもの遊び」は何ですか (全て)
 ア、手遊び イ、昔から伝わる子どもの遊び (コマ回し・竹馬 等) ウ、運動遊び
 エ、ごっこ遊び オ、ボール遊び カ、お絵かき キ、その他
- 2 ピアノの弾き歌いについて、どの程度弾けますか (1つ)
 ア 片手で引く程度 イ、両手初級 (バイエル初級程度) ウ、両手初級 (童謡が弾ける程度)
 エ、両手上級 (ソナタ・ソナチネ程度) オ、ほとんど弾けない
- 3 子どもたちの前でやろうと思っている保育実技は何ですか (全て)
 ア、絵本の読み聞かせ イ、手遊び ウ、エプロンシアター エ、パネルシアター
 カ、自己紹介 キ、挨拶 ク、食事指導 ケ、その他
- 4 実習に際して、一番大切にしたい態度とその理由を教えてください (1つ)
 ア、明るさ イ、謙虚さ ウ、積極性 エ、熱心さ オ、礼儀 カ、奉仕の心 キ、素直さ
 ク、挨拶 ケ、社会性 コ、障害のある幼児への配慮 サ、その他
- 5 実習に際して不安に思っていることと、その理由を教えてください

【事後 (教育実習実施後: 保育・教職実践演習 受講生 135人)】対象アンケート

※あなたは幼稚園教諭をめざしますか (どちらかに○)

- 1 実習で実際に行った「子どもの遊び」は何ですか (実施したもの全て)
 ア、手遊び イ、昔から伝わる子どもの遊び (コマ回し・竹馬 等) ウ、運動遊び
 エ、ごっこ遊び オ、ボール遊び カ、お絵かき キ、その他 ()
- 2 あなたのピアノの弾き歌いはどうでしたか。(1個) 感想も書いてください。
 ア、片手だけ何とか弾けた イ、あまりうまく弾けなかった ウ、だいたい弾けた
 エ、自信を持って弾けた オ、ほとんど弾けなかった
- 3 子どもたちの前でやった保育実技は何ですか。(実施したもの全て)
 ア、絵本の読み聞かせ イ、手遊び ウ、エプロンシアター エ、パネルシアター
 カ、自己紹介 キ、挨拶 ク、食事指導 ケ、その他 ()
- 4 実習に際して、一番大切にしたい態度は何ですか。(1個) その理由も教えてください
 ア、明るさ イ、謙虚さ ウ、積極性 エ、熱心さ オ、礼儀 カ、奉仕の心 キ、素直さ
 ク、挨拶 ケ、社会性 コ、障害のある幼児への配慮 サ、その他 ()
- 5 実習で一番困ったり反省したりしたことは何ですか。
- 6 実習を終えて、あなたが学んだことは何ですか。

【幼稚園教員 (69人) が実習生に望むもの】対象アンケート

- 1 「実習生に学んでほしい子どもの遊び」について (2つまで)
 ア、手遊び イ、昔から伝わる子どもの遊び (コマ回し・竹馬 等) ウ、運動遊び
 エ、ごっこ遊び オ、ボール遊び カ、お絵かき キ、その他 ()
- 2 「ピアノの弾き歌いについて、どの程度弾いてほしいか」について (1つ)
 ア、片手で引く程度 イ、両手初級 (バイエル初級程度) ウ、両手初級 (童謡が弾ける程度)
 エ、両手上級 (ソナタ・ソナチネ程度)
- 3 「実習生に子どもたちの前でしてほしい保育実技」は何ですか。(自由記述)
- 4 「実習生に一番望むこと」について (1つ)
 ア、明るさ イ、謙虚さ ウ、積極性 エ、熱心さ オ、礼儀 カ、奉仕の心 キ、素直さ ク、挨拶
 ケ、社会性 コ、障害のある幼児への配慮 サ、その他 ()
- 5 その他 実習生に対しての意見を書いてください。

アンケート結果

保育・教職実践演習の充実に向けたアンケート集約(学生：実習前後)

項 目	回 答	回 答 (%)	
		実習前	実習後
幼稚園教諭を目指す	はい	64.2	46.0
	いいえ	34.3	50.4
	無回答	1.5	2.4
やってみ たい子 どもの遊び	ア 手遊び	24.6	20.2
	イ 昔からの子どもの遊び	8.9	7.0
	ウ 運動遊び	25.1	20.0
	エ ごっこ遊び	14.7	19.5
	オ ボール遊び	13.1	13.1
	カ お絵かき	12.0	16.8
	ク その他	1.0	3.5
ピアノの 弾き歌い について どの程度 弾けます か	ア 片手で弾く	4.5	5.4
	イ 両手初級(バイエル初級)	47.5	18.7
	ウ 両手初級(動揺が弾ける)	34.3	38.4
	エ 両手上級(ソナタ・ソナチネ)	6.0	27.7
	オ ほとんど弾けない	7.5	9.8
やろうと 思ってい る 保育実技	ア 読み聞かせ	26.0	23.3
	イ 手遊び	20.6	21.3
	ウ エブロンシアター	2.7	5.1
	エ パネルシアター	13.5	5.4
	カ 自己紹介	16.1	20.0
	キ 挨拶	14.8	9.7
	ク 食事指導	4.0	8.3
一番大切 にしたい 態度	ケ その他	2.2	6.9
	ア 明るさ	29.9	28.9
	イ 謙虚さ	5.6	3.9
	ウ 積極性	15.0	24.2
	エ 熱心さ	6.5	1.6
	オ 礼儀	13.1	11.7
	カ 奉仕の心	1.9	1.0
	キ 素直さ	5.6	1.0
	ク 挨拶	13.1	24.2
	ケ 社会性	4.7	0.0
	コ 障害ある幼児への配慮	4.7	0.0
	サ その他	0.0	3.9

保育・教職実践演習の充実に向けたアンケート集約(幼稚園)

項 目	回 答	回 答 (%)
		保育者
実習生に 学んでほ しい子 どもの遊び (2つまで)	ア 手遊び	39.2
	イ 昔からの子どもの遊び	3.1
	ウ 運動遊び	36.2
	エ ごっこ遊び	14.6
	オ ボール遊び	0.8
	カ お絵かき	3.1
	ク その他	3.1
ピアノの 弾き歌い どの程度 まで弾い てほしい	ア 片手で弾く	0.0
	イ 両手初級(バイエル初級)	8.7
	ウ 両手初級(動揺が弾ける)	85.5
	エ 両手上級(ソナタ・ソナチネ)	2.9
実習生に やってほ しい 保育実技	ゲーム遊び	19.7
	手遊び	18.9
	読み聞かせ	9.8
	制作活動	9.8
	エブロンシアター	8.2
	リズム遊び	8.2
	パネルシアター	4.9
実習生に 望むこと (1つ)	運動遊び	3.3
	ア 明るさ	24.1
	イ 謙虚さ	3.8
	ウ 積極性	20.3
	エ 熱心さ	19.0
	オ 礼儀	3.8
	カ 奉仕の心	0
	キ 素直さ	16.5
	ク 挨拶	5.1
	ケ 社会性	5.1
	コ 障害ある幼児への配慮	0
	サ その他	0

1. 「あなたは幼稚園教諭をめざしていますか」そして「その理由は」について「はい」と答えた事前は64%、事後46%。「いいえ」と答えた事前が34%、事後が51%であった。

考 察

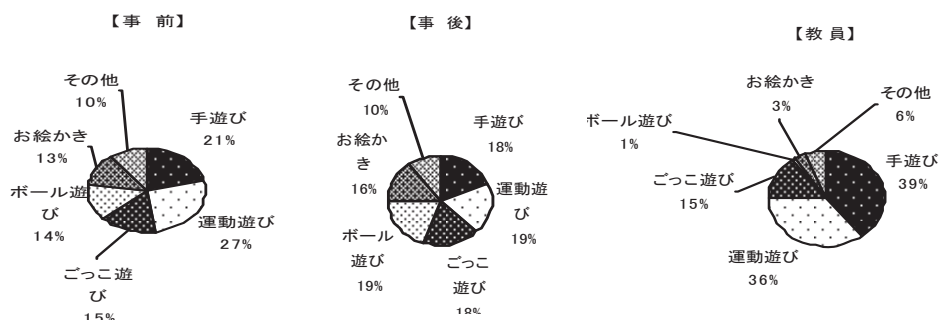
事後の「いいえ」が多かった理由として、事前の調査対象はすでに勤務している場合が多い通信課程の学生であったのに対して、事後は保育専門学校の学生が多く、幼稚園教諭ではなく保育士を目指している学生が多かったためと考えられる。

また、事前・事後を含めて「保育者以外の仕事に就く」と答えたのは1人で、他は全て保育関連の仕事を希望している。更に「実習を通して、になりたい気持ちが強くなった」「子どもと共に成長して

いける教諭になりたい」と多くの学生が答えている。このことから幼稚園教諭免許取得への意欲は非常に高く、実習を通して更に高まっているといえる。

2. 学 生「実習でやってみたい、実際に実施した『子どもの遊び』は何ですか」

幼稚園教員「実習生に学んでほしい『子どもの遊び』は何ですか」について



(幼稚園教員のコメント)

得意なことより苦手なことをやれば次につながる。自信を持ってやってほしい。子どもと先生が一緒に楽しむことのできる活動。一生懸命なら何でもOK。楽しく子どもたちと関わること。実習生が考えた出し物（手品やお話など）。新しいもの。実習生が「これが学びたい！」というものを行ってくればそれにあった助言をする。子どもたちをひきつける力。とにかく明るく元気に。

考 察

学生が、実習でやってみたい遊びと実施した遊びは、ほぼ同様である。このことから、学生がしたいと思う遊びを準備して実習に臨んでいることがうかがわれる。

幼稚園教員が望んでいる遊びも同様であるが、コメントからわかるように、遊びが何であれ実習生が積極的に自信を持って明るく元気に子ども達に関わることを期待している。そして、そのような実習生を積極的に支援するという姿勢を強く感じる。

2. ピアノの弾き歌いについて

	片手で弾く程度	バイエル初級程度	童謡が弾ける程度	ソナタ・ソナチネ程度	ほとんど弾けない
実習前の学生の技量	4.5	47.5	34.3	6.0	7.5
幼稚園教員の望む技量	0.0	8.7	85.5	2.9	
実習後の学生の感想	片手でなんとか弾けた	あまりうまく弾けなかった	だいたい弾けた	自信を持って弾けた	ほとんど弾けなかった
	5.4	18.7	38.4	27.7	8.8

考 察

幼稚園教員が望むピアノの技術は「童謡が弾ける程度」以上と推測され、約88%である。実習前の学生の「童謡が弾ける程度」以上は約40%である。幼稚園教員は実際の保育に必要な技量は「童謡が弾ける程度」以上と判断しているわけで、この約48%の隔たりは非常に大きいと言わざるを得ず、教育実習事前指導を始め大学の指導の大きな課題である。「保育のポイントやアドバイスはその都度話して即実践できるが、ピアノは練習を積み重ねるしかない。1日15分毎日弾く習慣をつけることを勧める。1年で成果が出る。」「最初から『できない』ではなく、努力が必要。」と幼稚園教員の意見にあるように、時間をかけた努力の積み重ねが必須である。

事後の学生の感想では、「だいたい弾けた」「自信を持って弾けた」が合わせて約66%で、これも事前の学生の実態から26パーセントの隔たりがある。このことは「練習をしっかりと行ったので自信を持って弾くことができた 幼稚園教員の方にも褒めていただいて嬉しかった」「練習をしてきて良かった 自信を持って弾けた」の実習後の学生の感想にもあるように、多くの学生が事前にピアノ練習に取り組んだ成果だと考えられる。幼稚園教員で「童謡が弾ける程度」が一番高ポイントだったという結果や「片手だが楽しく弾けた」「簡素化してリズムをキープして弾き歌いができた」という学生の感想から「何が何でもうまく弾かなくてはならない」のではなく「子どもと楽しく歌える」ことが重要だと考える。

4. 保育実技について、子どもたちの前でやろうと思っている（事前）、実習で行った（事後）ものは何ですか。（幼稚園教員）実習生に子ども達の前でしてほしい保育実技はなんですか。（自由記述）

（事 前）①絵本の読み聞かせ②手遊び③自己紹介④挨拶⑤パネルシアター（5位まで）

その他（紙芝居の読み聞かせ、紙芝居、ゲーム、運動、運動あそび）

（事 後）①読み聞かせ②手遊び③自己紹介④挨拶⑤食事指導（5位まで）

その他（粘土2、制作2、絵本・紙芝居2、折り紙、遊具を使った遊び、虫採集1、工作、砂遊び、フラフープ、わらべ歌、リズム遊び、水遊び）

（幼稚園教員）①ゲーム遊び②手遊び③読み聞かせ・制作活動⑤リズム遊び・エプロンシアター

自由記述：・印象に残る自己紹介 ・得意なことより苦手なことをやれば次につながる

- ・自信を持ってやってほしい ・子どもと先生と一緒に楽しむことのできる活動
- ・楽しく子どもたちと関わること ・実習生が考えた出し物（手品やお話など）、新しいもの
- ・実習生が「これが学びたい！」というものを行ってくればそれにあった助言をする
- ・子どもたちを引きつける力 ・とにかく明るく元気に！
- ・一生懸命で子どもたちが楽しめることなら何でもOK

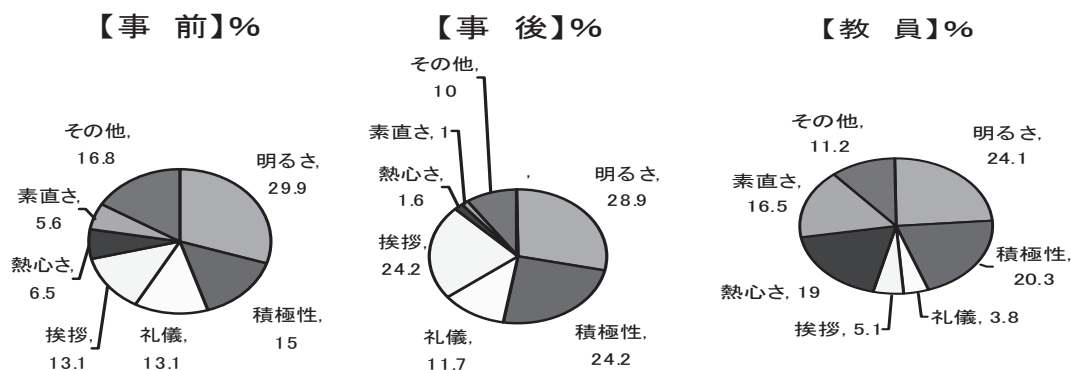
考 察

実習前の学生が、実習を想定して必要なものとして学んで準備していたものと、事後の学生の報

告にあるように、実際に活用した実技は、1～4位は一致していた。幼稚園教員も同様の内容の実技を望んでおり、更により新しい要素を取り入れた内容を希望している。そのことは、「学びたいと考えるもの、一緒に楽しめるもの、楽しく子どもと関われるもの、実習生が考え出したものに積極的に取り組んでほしい」との記述からも理解できる。ここでもやはり「明るく積極的に」ということが基調にある。

5. (事前・事後) 実習に際して、一番大切にしたい態度とその理由を教えてください。

(幼稚園教員) 実習生に一番望むこと



(考 察)

事前・事後共、大切にしたい態度の内容は同様であった。事前に「明るくしたら子どもが楽しく遊ぶだろう。」「こどもが安心すると思う。」と予想していたことが、実習で実際に大切であることに気づき、実践している。そして、明るくしたことによって、笑顔での会話や活動ができたという成果を実感している。また、幼稚園教員が実習生に望むことにも、明るさ、積極性が上位であり、その理由も学生の理解内容と一致している。やはり、ここでも「明るさと積極性」が基調にある。

挨拶は学生は事前が13.1%、事後が24.2%であるのに対して幼稚園教員は5.1%である。また、礼儀も学生は事前が13.1%、事後が11.7%であるのに対して幼稚園教員は3.8%である。これは、幼稚園教員が挨拶・礼儀を軽んじているのではなく、学生に「挨拶・礼儀の大切さ」が浸透して実践できているので、その結果として低くなったと考える。

しかし、ここで問題になるのは素直さである。学生は事前が5.6%、事後が1.0%であるのに対して、保育者は16.5%と高い値である。幼稚園教員は実習生の素直さに問題ありととらえているが、学生はそうではない。学生は「自分は素直である」と捉えているのか、それとも問題そのものに気づいていないのか、十分な検証が必要である。

6. 実習に際して不安に思っていることと、その理由を教えてください（事前）

実習で一番困ったり反省したりしたことは何ですか（事後）

（事前）

- ・ コミュニケーションの取り方（幼稚園教員・子ども）（先生に嫌われないか・子どもが受け入れてくれるか・環境が変わった中でうまく対応できるか）
- ・ 実習簿の書き方
- ・ 指導案の書き方（部分実習・責任実習）（内容が分からない・字が汚い・文章が下手）
- ・ ピアノ演奏（弾けない・自信がない）・体調管理
- ・ 実習先が確保できるか
- ・ 初めてのことなので不安（どのようなことをするのか分からない。対処の仕方が分からない）
- ・ 実習のイメージがわからない（わからない・自信が持てない）

（事後）（人）

- ・ 実習日誌や指導案の書き方を注意され困った、うまく書けなかった（21）
- ・ 障害を持つ子どもへの配慮・手遊びや歌、遊ぶ内容をもっと覚えておくべきだった・体調を崩してしまった・子ども同士のけんかの仲裁・子どもとの関わり方（16）
- ・ ピアノ練習（8）
- ・ 設定保育（7）
- ・ 言葉かけ（4）
- ・ もう少し広い範囲に目を配るようにすること
- ・ 言葉づかい・計画性がなかった・トラブルの時の対応（2）
- ・ しっかり見て声掛けの方法などを考えないといけない・体力がいること・子どもを把握しきれず大失敗をしてしまったこと・臨機応変に行動できなかった（1）

考 察

実習前の学生が不安に思っていること・悩んでいることが、実習にも影響し、できなかった・失敗したという結果が多くあった。事後の学生は、技術面等に不安のある場合は、学習や練習を重ねておくことで解消されることを示唆している。

また、不安が多くある場合、全てのことを考えるのではなくできるものから頑張れると思うところから、少しずつ実践していくことの意識や意欲を持つことが大切である。その上でできたことをきっかけにして、次への課題やステップに取り組んでいくことが解決策の一つになると考えている。

8. 実習を終えて、あなたが学んだことは何ですか（事後）（人）

- ・ 子どもたちにあった指導やかかわり方（13）
- ・ 掃除や基本的なこと、子どもに対する接し方・子どもの発達段階（9）
- ・ 子どもへの声かけと言葉の使い方（7）
- ・ 子ども一人ひとりの事を理解することがとても大切であるということ（6）
- ・ 忍耐力、子どものこと、他人のことを考える力、周りを見る力など、人と関わることにおいて

大切なことを学んだ (4)

- ・ 子どもたちの気持ちを大切に、たくさん関わり、信頼関係を築くこと・自分が楽しく関わっていると、子ども達もその気持ちを共有しながら関わるができる (3)
- ・ 毎日何が起こるか分からないので緊張感を持って実習すること・手遊び、注意・指導の在り方・適切な言葉かけの大切さ・指導計画の考え方、立て方、振り返り方 (2)
- ・ 笑顔で接することによって受け入れてくれて、心を開いてくれること
- ・ トラブルの時、活動を一旦止めて、みんなで話し合いの場を設けることも必要だった
- ・ 設定保育の際の安全への配慮の心がけ ・子どもは保育者を見ていること
- ・ 積極的に動くことは大切 ・コミュニケーションのとり方
- ・ 幼稚園教諭のあるべき姿 ・絵本の読み聞かせ ・幼稚園教員同士の連携の仕方 (1)

考 察

全て、初めて聞いた事や感じたことではなく、事前の学習で学んできたことである。学生は、人として、社会人として、幼稚園教員として育っていくことを前提として過ごし、そして目の前の子どもに対して自分自身が環境の一つとしての良き幼稚園教員になることを目指さなくてはならない。

9. これから実習を行う学生へ、先輩としてのアドバイスを書いてください (事後) (人)

- ・ 明るく積極的に子どもと関わってください (1 2)
- ・ 幼稚園教員からのアドバイスをきちんと聞いてきちんと質問すること・礼儀、笑顔、明るさを大切に、積極的に行動する (9)
- ・ 辛いことや大変なことが多く、何度も折れそうになるけど、自分のため、自分の夢のためとふんばって頑張りきってください・手遊びなどをいっぱい覚えておくといいです・何事にも積極的に取り組むことで、担任はしっかりと支援するので失敗を恐れないで (7)
- ・ 何でも積極的に、謙虚に、感謝の気持ちを忘れずに・事前の準備はしっかりと (6)
- ・ 不安がらずに失敗しても経験を積むこと・大変なことは多いが学びにつながるので、失敗を恐れないで笑顔で頑張ってください (4)
- ・ 子どもが好きという気持ちを大切に (3)
- ・ 実習を通して自分がこの仕事に向いているのかを知ることができる・子どもの気持ちを考えて保育をすることが大切であること・明るく元気に (2)
- ・ 挨拶は人としての基本なので積極的にしたほうがいい・体調管理をしっかりする (1)

考 察

〔4. (事前・事後) 実習に際して、一番大切にしたい態度とその理由を答えてください。(保育者) 実習生に一番望むこと〕とはほぼ同じで、「明るく積極的に」を基調として「素直さ、謙虚、礼儀、

感謝」の必要性を説いている。

9. 実習生に対しての意見を書いてください。(幼稚園教員)

①実習に対する心構えを作れ

- ・ これをやりたいというものを1つでも持ってくると（考えてくると）、よい実習になる。
- ・ 人としての基本は実習先で学ぶものではなく、実習に入るまでに身につけている状態が当たり前であるのに、基本から教えなければいけないことが多い。何のために実習に来ているのかを、自覚して欲しい。

②子どもの前では、先生であることを自覚をせよ

- ・ 子どもたちへの言葉掛けに配慮して、熱心に関わって欲しい。
- ・ 子どもに関わるときの視線や言葉遣いなど ・ 実習生でも、働く気持ちで頑張っている欲しい。

③学ぼうとする姿勢が大事

- ・ 社会人になるための大切な実践の場なので、分からないこと等、積極的に尋ねてほしい。
- ・ 誠実さと謙虚さが大切なので、自信を持つのも大事だが、学ぶ姿勢を忘れないで欲しい。
- ・ 自から学ぼうとする意欲と謙虚な姿勢を持って実習に取り組むと、実りあるものになる。

④様々な経験を積むこと

- ・ 初めから上手くいくことはありません。また、保育は正解が一つではありません。たくさん失敗をすると、たくさん引き出しもできます。自分の持ち味を思い切り発揮すること。
- ・ 現場でしか学べないことを吸収して欲しい。
- ・ 観察ももちろんだが、より多くの子どもと関わりを持って欲しい

⑤ 積極性を持って

- ・ 失敗を恐れず、分からないことはどんどん尋ね、明るく積極的に子どもたちに関わろう。
- ・ どんなことにも積極的に挑戦し、自ら気付けるように実習ができるとよい。
- ・ 積極的に子どもたちと関わり、先生達の意見を素直に聞いて欲しい。 ・ 子どもとの関わりだけではなく、教員の動きを見て積極的に手伝い、幼稚園教員の仕事を体験して欲しい。

⑥ 明るく、笑顔で、挨拶も

- ・ 笑顔で元気があれば大丈夫。不安だろうが、笑顔で
- ・ 元気な挨拶をしてほしい（特に保護者）

考 察

上の①～⑥は、幼稚園教員の多くの意見をまとめたものである。一つひとつの項目は日頃幼稚園教員の思いや体験を凝縮したものである。私たちはこの一つひとつのコメントを学生に伝え指導しなくてはならない。そして、学生が日々の生活の中に落とし込んで、幼稚園教員からの願いや思いを感謝して受け取る姿勢を育てたい。ここでも基調はやはり「明るく積極的に」である。

結 論

教育実習を受け入れる幼稚園教員の思いや願いは、基調として「明るく、元気に、積極的に取り組んでほしい」があり、総じて受け入れに好意的である。そこには幼稚園教育に後継者育成という使命感と保育者としての矜持を感じ取ることができる。紙面制約の関係上、割愛せざるを得なかったが、本当に多くのご意見をいただいた。特に《9 実習生に対する意見》では、厳しく温かい指摘をいただいた。幼稚園教員は、実習生に素直さや礼儀などの人間としての基本的な部分の涵養を求めている。このことから、幼稚園教諭育成課程では、教育実習指導だけでなく、道徳性や人間的素養を身に付けさせる指導も必要となってきた。そして、このアンケートで明らかになった、素直さに関する保育者と学生の意識の違いは、さらなる検証を要する。

学生が教育実習に対して特に不安を感じていることは《コミュニケーションの取り方（保育者や子どもと）》《実技（実習簿の書き方、指導案の書き方、ピアノ演奏）》が主である。これは想定していたこととはいえ、通信教育課程では指導を更に充実させる必要がある。特にピアノ演奏は早い時期から教育実習を意識した取り組みが必要である。

私たち保育・教職実践演習や幼稚園教育実習事前・事後指導を担当する者は、このアンケートをさらに精査し多くの指導者と個の情報を共有して指導に生かしていきたい。

最後になったが、このアンケート調査を実施するにあたり、多くの学生、専門学校関係者、幼稚園教員にお世話になった。心からお礼を申し上げる

引用文献

文部科学省「教職課程の質的水準の向上」

参考文献

保育・教職実践演習 上長 燃 國光 みどり 共著 豊岡短期大学通信教育部 発行
幼稚園教育実習事前・事後指導 田地米 富子 堀 和弘 共著 豊岡短期大学通信教育部 発行